

がんばるひょうごの中小企業を応援する月刊誌

保証時報

2019
vol.695

5



今月の「輝くわがまちのものづくり企業」／株式会社高砂産業(高砂市) P4

CONTENTS

P.01 信用保証協会ニュース

- ・平成31年度(2019年度)経営計画について
- ・情報誌「創業／事業承継 すべての情報 in ひょうご」2019年春号を発行します
- ・平成31年度(2019年度)金融機関感謝状の贈呈について
- ・篠山市の市名変更について
- ・景気動向調査の結果をお知らせします
～先行きには不透明が高まる～

P.04 輝くわがまち いまが旬

P.05 あなたのまちの信用保証協会

P.07 ひょうご Try Angle

株式会社Amnak

P.09 保証状況

信用保証協会は、中小企業のみならずが事業資金の融資を受けられる時に、公的な立場でバックアップいたします。



兵庫県信用保証協会

CREDIT GUARANTEE CORPORATION OF HYOGO-KEN

www.hosyok yokai-hyogo.or.jp



メールマガジンを配信しています!!

配信をご希望される方は、左のQRコードから「メールマガジン申込」ページにアクセスしてください。

平成31年度(2019年度)経営計画について

平成31年度(2019年度)経営計画

兵庫県内の経済情勢は、緩やかな拡大を続けていますが、中小企業・小規模事業者全てにその効果が行き届いているわけではなく、人材不足や事業承継などの経営課題は深刻化しつつあり、より一層、中小企業・小規模事業者の皆さまに寄り添った業務の推進が求められています。本年度は、平成の時代から令和の時代に引き継がれる年であり、当協会も新しい時代にふさわしい保証協会に向けて「リ・スタート」し、地域経済・社会の発展に貢献してまいります。

業務運営方針

- 1) 企業のライフステージに対応した保証商品のラインアップ化をさらに充実し、経営改善や生産性の向上に向けた安定的な資金調達を支援します。
- 2) 関係機関との連携により、個々の企業に最適となるきめ細やかな経営支援を展開します。また、創業に関する理解と関心を深めるイベントを開催します。
- 3) 求償権の回収については、効率的・効果的な回収に繋げることで回収の最大化を図ります。さらに、事業再生や生活再建の観点にも配慮し、それぞれの状況で相応しい対応を行います。
- 4) 公的機関としての社会的責任を果たすため、コンプライアンスの徹底に取り組みます。また、反社会的勢力等に対しては、関係機関との連携体制のもと、その一切を排除します。

具体的な取組事項

- 1) 企業のライフステージに応じた資金需要の把握と保証商品の提供
 - 経営者保証を不要とする保証として「リードα(経営者保証不要プラン)」、「財務要件型無保証人・当座貸越根保証」を創設し、「経営者保証ガイドライン推進キャンペーン」を引き続き実施。
 - 既保証先の成長・発展を支援する「リピート5」、企業の技術力・経営力向上を支援する「スター」について、対象要件を拡充。
- 2) 地域創生に貢献できる創業支援、経営支援の取組の強化
 - プロパー融資を要件とする新規・再利用先を対象にした事前内定型保証の「スタートライン5」を創設。
 - 創業支援、地域活性化支援等を目的とする「地域創生キャンペーン」の対象を拡充し、「チャレンジサポートキャンペーン」を合わせて引き続き実施。
- 3) 企業のライフステージに応じたきめ細やかな経営支援の推進
 - 創業に関する理解と関心を深める施策を金融機関や各支援機関と連携して開催。
 - 創業後、事業が軌道に乗るまでの保証利用先企業を訪問し、事業展開を支援。
 - 平成29年度から3か年にわたり実施中の条件変更先の縮小を目的とした「経営支援強化プロジェクト」について、最終年度としてより効果的な取組となるよう取組の幅を広げる。
 - 事業の再生を目指す保証先企業や代位弁済後も事業を継続している求償権先企業については、各関係機関と連携し、個々の実情に応じたきめ細やかな支援に取組む。
 - 経営者の高齢化の進展や後継者不在により事業継続に不安を抱える企業に対して、各関係機関と連携して事業承継に係るセミナーを開催。
- 4) 関係機関との連携強化
 - 兵庫県地域支援金融会議の枠組を活用し、意見交換・情報共有などに加え、「ひょうご信用創生アワード」の開催や「創業／事業承継すべての情報 in ひょうご」の定期発刊などを通じて参加機関間の連携をより深める。
 - 金融機関担当者との「同行訪問・面談」の実施や「経営サポート会議」の開催など、金融機関との間で個々の企業の経営課題を共有し、早期経営改善や金融取引の正常化につなげる。

業務計画

項目	金額	前年度計画比	前年度実績比
保証承諾	4,000億円	100.0%	93.6%
保証債務残高	1兆790億円	99.9%	98.4%
代位弁済	195億円	114.0%	100.4%
実際回収	61億円	93.8%	90.9%

情報誌「創業／事業承継 すべての情報 in ひょうご」 2019年春号を発行します

当協会が事務局を務める「兵庫県地域支援金融会議」では、県内各地で実施されている「創業」や「事業承継」を支援する施策やイベントを集約した情報誌「創業／事業承継 すべての情報 in ひょうご」2019年春号を5月下旬に発行します。

本情報誌は、2018年から春と秋の年2回発行しており、県内の支援機関や行政、金融機関等から集めた補助金やセミナー、制度融資、相談窓口など、創業や事業承継を支援する情報に加え、実際に創業や事業承継をした方のインタビュー記事や中小企業診断士、公認会計士によるワンポイント情報も掲載しています。

当協会の各事務所・支所に備え付けるほか、県内金融機関や支援機関、県・市町等に配付します。当協会ホームページからもダウンロードが可能ですので、ぜひご活用ください。



平成31年度(2019年度)金融機関感謝状の贈呈について

中小企業・小規模事業者の皆さまの発展に向け、積極的に信用保証を活用いただいた金融機関および金融機関店舗に対して、毎年度、感謝状を贈呈しています。今年度は以下の基準に該当する皆さまに感謝状を贈ります。引続き保証付融資の推進にご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。



感謝状贈呈基準（概要）

- | | |
|-----------------|--|
| 1 金融機関 | <p>以下のいずれの条件も満たす全ての金融機関</p> <p>①平成31年度(2019年度)末における保証債務残高が100億円以上、かつ対前年比が協会全体の平均以上</p> <p>②平成31年度(2019年度)における代位弁済率が全国平均または兵庫県平均のいずれか低い方以下</p> |
| 2 金融機関店舗 | <p>以下のいずれの条件も満たす金融機関店舗</p> <p>①平成31年度(2019年度)末における保証債務残高の対前年比が上位(神戸事務所、阪神事務所および姫路事務所管内は10位以内、但馬支所、淡路支所、西脇支所および加古川支所管内は3位以内)</p> <p>②平成31年度(2019年度)末における保証債務残高が基準以上(神戸事務所、阪神事務所および姫路事務所管内は10億円以上、但馬支所、淡路支所、西脇支所および加古川支所管内は3億円以上)、かつ対前年比が100%以上</p> <p>③平成31年度(2019年度)における代位弁済率が全国平均または兵庫県平均のいずれか低い方以下</p> |
| 3 特別部門 | <p>以下の保証商品などにつき、積極的な取組をされた上位3位以内の金融機関</p> <p>①ぜんしん ②リードα(アルファ) ③たんけい ④事業展開を支援する兵庫県融資制度</p> <p>⑤経営者保証ガイドライン推進キャンペーン ⑥地域創生キャンペーン、チャレンジサポートキャンペーン</p> <p>⑦経営改善支援 ⑧事業性評価・事業承継支援</p> |

■ 感謝状贈呈基準の詳細につきましては、当協会のホームページをご覧ください。

篠山市の市名変更について

2019年5月1日をもって、篠山市の名称が「丹波篠山市」に変更されます。

信用保証をご利用いただいているお客様におかれましては、市名変更に伴うお手続きは不要です。また、保証申込の際に提出いただく印鑑証明書、履歴事項全部証明書につきましては、市名変更前のものでも構いません(最近3か月以内のものがが必要です)。

なお、当協会の業務システム対応は7月下旬を予定しており、それまでの間にお送りする一部書類につきましては市名が「篠山市」と表示されるものがありますが、予めご了承ください。

※ 詳細については、各事務所、支所までお問い合わせください。

景気動向調査の結果をお知らせします ～先行きには不透明が高まる～

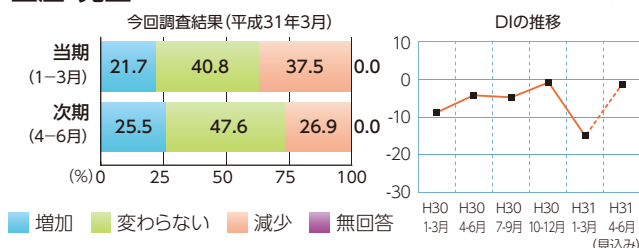
平成31年3月の調査結果がまとまりましたので、お知らせします。

調査要領

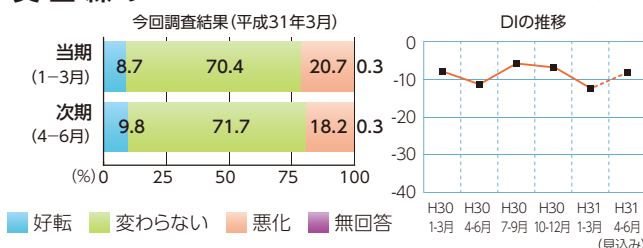
- ① 調査時点：平成31年3月 ② 調査方法：無記名・郵送方式
③ 調査対象：1,500事業者 ④ 有効回答数：368(回答率24.5%)
※本調査は四半期ごとに当協会の保証利用企業を対象に実施しています。

現在と今後の景況、借入難易感について

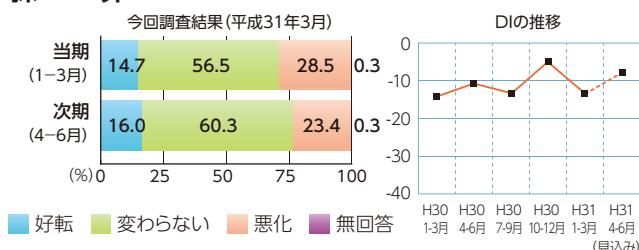
生産・売上 前回調査時に比べDI値は15.3ポイント悪化



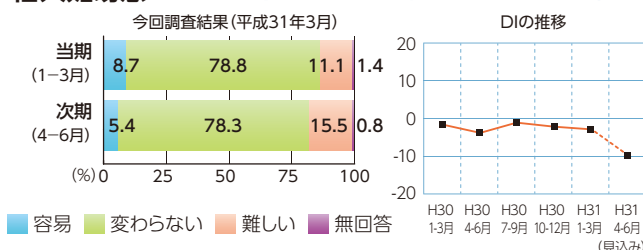
資金繰り 前回調査時に比べDI値は4.5ポイント悪化



採算 前回調査時に比べDI値は9.1ポイント悪化

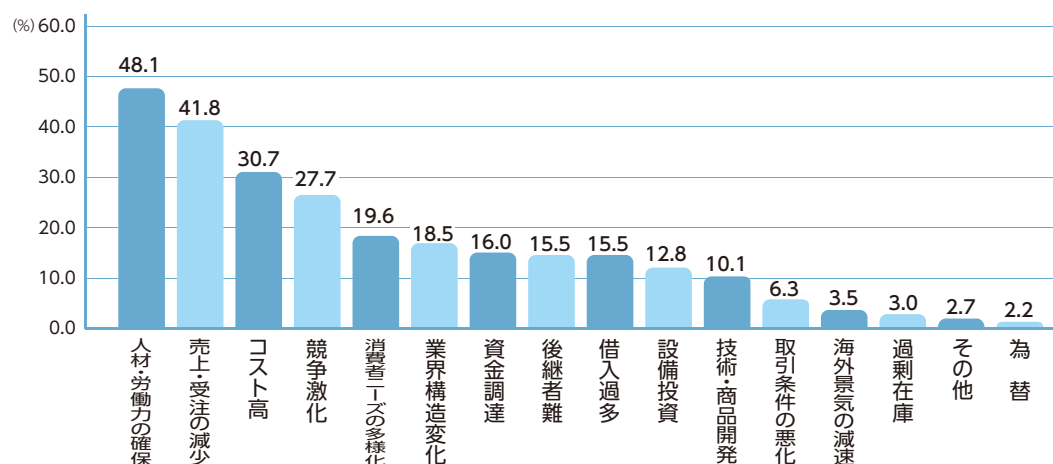


借入難易感 前回調査時に比べDI値は0.5ポイント悪化



当期(1-3月)のDI値は、前回調査(10-12月)と比べ、全ての項目で悪化しました。次期(4-6月)については、「生産・売上」「採算」「資金繰り」の項目では、改善を見込んでいますが、「借入難易感」は悪化する見込みとなっています。

経営上の課題 (複数回答)



経営上の課題については、「人材・労働力の確保(48.1%)」「売上・受注の減少(41.8%)」が上位となっており、次いで、「コスト高(30.7%)」「競争激化(27.7%)」の順となっています。

景気動向調査にご協力いただいた皆さまに厚くお礼申し上げます。今後も引き続き、ご協力いただきますようお願い申し上げます。ご回答いただいた結果を踏まえ、信用保証制度の適切な運営に取り組んでまいります。なお、調査内容の詳細につきましては、当協会のホームページにて公表しています。

ホームページアドレス <http://www.hosyokyokai-hyogo.or.jp>

※ 構成比の数値は、小数点第2位を四捨五入したものです。そのため、個々の構成比の合計が100%にならない場合があります。



高砂市



生石神社

屏風型の巨大なご神体が訪れる人を迎えてくれる神秘の社。

宝殿山の山腹に鎮座している生石神社のご神体は「石乃宝殿」と呼ばれる横6.5m、高さ5.6m、奥行き7.5mの巨大な屏風のような形をした石造物です。水に浮かんでいるように見えることから「浮石」という異名を持つご神体は、いつ、誰が、何のために造ったのかがわかっていません。石乃宝殿は国の史跡に指定されており、宮崎県霧島東神社の天之逆鉾、宮城県御釜神社の四口の神竈と並んで、「日本三奇」の一つに数えられています。

一般社団法人 高砂市観光交流ビューロー

〒676-0022

高砂市高砂町浜田町2丁目2-6

(駅前観光案内所ちり2階)

TEL.079-441-8076/FAX.079-441-8077



足をのばして



加古川支所
宮崎 仁志



工楽松右衛門旧宅

江戸時代に海運業や港湾改修で名を馳せた工楽松右衛門の居宅。『約200年前の暮らしの痕跡が伝わってくる』と人気。平成28年1月、『市指定文化財』に指定されました。



御影屋

江戸時代、船の帆として使用していた帆布を復元してバッグや小物など、暮らしを彩るアイテムを開発して販売。『丈夫でオシャレ』と観光客はもちろん、地元の人にも人気です。



石切場

高砂市は、約1700年も前から竜山石の産出の地として知られており、皇居吹上御苑や社寺仏閣、国会議事堂などにも使用されています。石切場は、竜山石を切り出している場所です。

輝くわがまちの
ものづくり企業

シューズメーカーの下請けで培った技術で オシャレな地下足袋を開発しました。



株式会社高砂産業
代表取締役 加古 陽一氏
高砂市曾根町2867-10
☎079-448-2051

昭和44年に創業し、大手シューズメーカーの下請けとして登山靴などを手がけていました。カラフルな地下足袋を開発したのは約15年前のこと。あるアパレルメーカーから「オシャレな若い人向けの地下足袋を」と依頼を受けたのがきっかけです。その後、金融機関から自社ブランドの立ち上げを勧められ、「wamon」ブランドを開発しました。現在、柄は約100種類、運動靴タイプ、つっかけタイプなどバリエーションも増えました。平成28年には五つ星ひょうご選定商品に選ばれました。また、農家の方向けの新聞に掲載された際は、東北や九州などから多数の注文が入り、驚いたくらいです。今後も、培ってきた技術を活かしてユニークなものづくりに取り組んでいきたいと思っています。



カラフルでファッショナブルな
「wamon」ブランドの地下足袋



あなたのまちの

信用保証協会

中小企業・小規模事業者の皆さまをサポートする
相談窓口を紹介いたします。

経営支援室



私ども経営支援室は兵庫県下全
域の経営支援・創業支援に積極的
に取り組んでいます。

中小企業の皆さまへ中小企業診
断士、公認会計士等の専門家派遣、
経営改善計画策定のお手伝い、女性
企業家や創業、事業承継などのご相談を承っております。
また、関係機関の皆さまと連携して、創業セミナーやひょ
うご信用創生アワードなど開催します。

経営支援室職員一同、これからも信頼される保証協会
を目指し、地域経済の発展に貢献していきたいと考えてお
ります。「どうしたらいいの?」「困ったな」と思ったらず
は、経営支援室にご相談ください。



経営支援室長
畑中 耕二



副室長
嶋田 拓也

期中支援課

☎ 078-393-4024



(左から) 東郷、興津、西尾課長、石橋、辻岡
女性企業家支援チームメンバー: 東郷

各地域の
担当者

兵庫県下全域を
興津、石橋、東郷、辻岡が担当します

創業・経営支援課

☎ 078-393-3920



(左から) 高木、佐々木、北村課長、細見
女性企業家支援チームメンバー: 高木

各地域の
担当者

兵庫県下全域を
佐々木、細見、高木が担当します

期中支援課

(経営支援強化事業推進班)

☎ 078-393-3904



(左から) 神尾、田所、荒川、藤田班長、林、構、千葉

各地域の
担当者

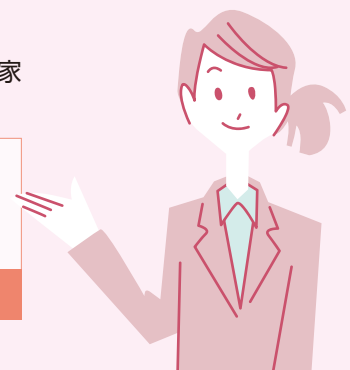
兵庫県下全域を
林、構、荒川、千葉、神尾、田所が担当します

「女性企業家支援チーム」のご案内

女性ならではのアイデア、感性、経験を活かした事業を行っておられる女性企業家
ならびに創業をお考えの女性の皆さまへ

各事務所・支所に女性企業家支援チームのメンバーがいます。地域に関わらずご相談を承っ
ていますので、相談希望の方は、事務所・支所にご連絡いただき、「女性企業家支援チーム」とお申し
出ください。また、下記の専用E-mail でもご相談を承っています。

E-mail: jyosei-sien@hosyokyokai-hyogo.or.jp



保証申込に関するご相談は保証相談各課まで、返済軽減(条件変更等)に関するご相談は調整相談各課までお願いいたします。

神戸事務所



神戸事務所が担当する地域には、約5万2千の中小企業があり、その業種、業態や事業規模は他の地域以上に多岐にわたっています。そのような中小企業の皆さまの更なる事業の発展のため、私たち職員は、金融機関や関係機関の方々との連携をより一層強め、それぞれの企業のライフステージに応じて求められるニーズを的確に把握し、そのニーズに合う保証商品の提供や、きめ細やかな経営支援を積極的に行ってまいります。



神戸事務所長
小松 誠

副所長
(保証相談担当)
中川 到



副所長
(調整相談担当)
米谷 健二



保証相談一課

☎ 078-393-3909

担当地域:神戸市東灘区、灘区、中央区



(左から) 丹羽、鳥越、上野、平松課長、中西、江口

女性企業家支援チームメンバー:江口

各地域の
担当者

神戸市東灘区:上野 灘区:鳥越
中央区:上野、中西、鶴飼、江口、丹羽

保証相談二課

☎ 078-393-3913

担当地域:神戸市兵庫区、長田区、須磨区、垂水区



(左から) 吉本、藤田(一)、藤田(真)、中山課長、先坊、三倉

女性企業家支援チームメンバー:藤田(真)

各地域の
担当者

神戸市兵庫区:藤田(一) 長田区:先坊 垂水区:吉本
須磨区:三倉 書面審査担当:藤田(真)

保証相談三課

☎ 078-393-3916

担当地域:神戸市北区、西区、明石市、三木市



(左から) 八杉、村尾、水野、島田課長、前森、赤鹿

各地域の
担当者

神戸市北区:赤鹿 西区:前森
明石市:水野 三木市:村尾、八杉

調整相談一課

☎ 078-393-3915

担当地域:神戸市中央区、灘区、東灘区、兵庫区



(左から) 小川、巻木、岩川課長、荒木、白瀬

各地域の
担当者

担当地域全域を
巻木、荒木、小川、白瀬が担当します

調整相談二課

☎ 078-393-3924

担当地域:神戸市長田区、須磨区、垂水区、北区、西区、明石市、三木市



(左から) 灘井、杉本、竹安課長、島谷

各地域の
担当者

担当地域全域を
杉本、島谷、灘井が担当します

可能性にトライ
未来を見つめるアングル

自動化で花ひらく
可能性に満ちた
新時代の農業にトライ。



アムナック
株式会社Amnak

代表取締役社長 藤田 彰 氏

少子高齢社会が進む今、あらゆる企業が存続の方法を模索している。建築業界で外装のリニューアルを手がけてきた株式会社山陽^{アムナック}Amnakもそのひとつ。1973年に創業した同社の藤田彰氏(現・会長)は「今、トライしなければ未来はない」と、2011年、社内ベンチャーとして農業事業部の立ち上げを決断。代表を長男に譲って組織の若返りを図り、三木市で自ら食用米の作付けを始めた。手応えを感じ始めた2014年、養父市が養父市国家戦略特別区域農業特区の指定を受けることに。その翌年、藤田氏は、株式会社山陽^{アムナック}Amnakと養父市能座区民の出資で農業生産法人 株式会社Amnak^{アムナック}を設立して養父市能座へ移転し、国内初となる法人による農地購入を行った。この一連の流

れについて藤田氏は「収穫した食用米をスーパーマーケットなどに卸し、酒米『山田錦』は全国の酒蔵に供給していました。すると『昔の山田錦の品質は極上だった』というのを何度か耳にしました。品質の変化は温暖化の影響ではと考え、寒冷地域で酒米づくりをしてみたいと思っていた矢先、養父市が特区になったというわけです。能座に移転する際、行政や住民の皆さんに『3年で休耕地をゼロにします』と宣言しました」と語る。

山間部に位置する養父市能座の田畑は、平地だけでなく山の斜面にも広がっている。高齢化が進んでいるため、山の斜面にある田畑での農作は厳しく、約20年以上休耕地になっている所も多かった。藤田氏は、

「新参者は困難な所から着手すべき」と、傾斜地の田畑を購入して草刈りを始めた。藤田氏の熱い思いが伝わったのか、近隣住民が草刈りを手伝ってくれるようになったという。

「当所は西区の自宅から1時間半ほどかけて能座に通っていたのですが、繁忙期には時間がもったいないので能座で家を持つことにしました。そのときは行政



が家探しや改修資金として補助金を出してくれるなど助けてくれました。念願通り、品質の良い山田錦や食用米が収穫できたことで田畑を広げることになり、休耕地は2年でゼロになりました。この結果が出たのは、地域の方と行政の協力があった

からだと思います」。

念願の地で山田錦を作り、2年で休耕地ゼロという地域貢献も果たした藤田氏だが、水面下で次なる夢の実現に向けて動き出していた。次なる夢とは「オール但馬の日本酒を世界にアピールする」こと。但馬地域の酒蔵に声を掛け、賛同してくれた酒蔵の協力を得て「純米 能座ほまれ」「純米吟醸 但馬ほまれ」が誕生。「まずはアジア圏」と単身、シンガポールや香港へ出向き、頒布会を開催。ところが習慣の違いからか思うようにならないことが多く、JETRO(日本貿易振興機構)を通じて商社を紹介してもらうことに。これが縁となり、2017年には台湾への輸出が決まった。

「ワインは世界中に愛飲家がありますが、もともとはフランスの片田舎の地酒でした。ワインを世界に広げたいと思った人がいたから今があるのだと思います。

日本酒だって同じです。私たちが養父市能座でつくった山田錦で、但馬杜氏が醸した日本酒を世界の人に味わってほしいという思いは、必ず通じると思います」。

では、なぜ、今、農業なのか?「実家が農家で、農業のいろはを知っているのと、GPSの発達などで、今後は農業の自動化が進むと考えたのです。タッチパネルで入力すると、耕耘機などの農機具が自動で田畑へ行き、農作業をして帰って来る時代がそこまで来ているのです。農業は古くからあるけれど、現代の技術で新しい産業に生まれ変わる。そんな場面に立ち会えるのではないかとと思うとワクワクします。このように考える若い世代の人も多く、求人募集をすると志のある人が応募してくれます」。

現在、藤田氏は、2人の若手社員と農業に取り組んでいる。では、今後の展開は?「米だけでなく野菜も作っているのですが、今後は作付け量を増やします。そのため雇用も行い、Iターンに貢献します。さらに、弊社の作物だけでなく、但馬地域の農作物を集めて小売店へ卸す新しい仕組みをつくりたい。そして、生産者と消費者をつなぎ、新しいモノやコトを生み出したいと考えています」。



つなぎ、新しいモノやコトを生み出したいと考えています」。

養父市は今、農業機械の公道自動無人走行実現に向けて動き始めているという。藤田氏の夢が叶う日が近づいている。

信用保証協会の保証商品を利用して能座の休耕地を購入しました。

金融機関の担当者から、農地購入資金を調達する「養父市アグリ特区保証融資制度」を紹介され、いろんな融資制度があるんだなと感心しました。また、金融機関の紹介で、「2017ひょうご信用創生アワード 創業部門」の推薦を受け、「国家戦略特区における特区事業の立ち上げと6次産業化への展開」というテーマで優秀事例として表彰していただきました。今後も、6次産業化も含めて、新しい時代に相応しい農業のあり方を探求していきたいと思います。



株式会社Amnak

〒667-0142 養父市建屋88-1
☎ 0120-461-053

3月の
保証概況

(単位：件、百万円、%)

	当月中				当期中			
	件数	前年比	金額	前年比	件数	前年比	金額	前年比
保証申込	2,415	95.5	40,477	90.0	26,288	97.6	431,333	99.6
保証承諾	2,425	94.9	40,857	90.3	26,031	97.6	427,283	99.7
保証債務残高	—	—	—	—	91,484	98.7	1,096,270	100.0
代位弁済(元利)	180	163.6	2,369	170.9	1,634	108.6	19,420	113.2

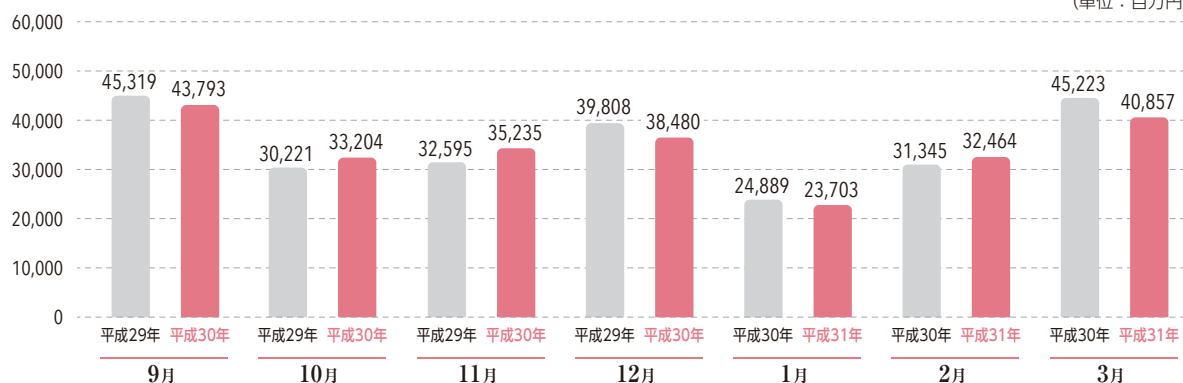
保証承諾

3月の保証承諾は2,425件(前年同月比94.9%)、40,857百万円(同90.3%)となり、前年同月と比べ、件数で130件、金額で4,366百万円下回った。

また、保証申込は2,415件(同95.5%)、40,477百万円(同90.0%)となり、前年同月と比べ、件数、金額ともに下回った。

保証承諾 (前年比較)

(単位：百万円)



資金使途別

3月の保証承諾のうち、運転資金は37,977百万円(前年同月比89.3%)、設備資金は1,127百万円(同116.7%)となり、前年同月と比べ、運転資金は下回り、設備資金は上回った。

業種別

3月の業種別保証承諾の状況は、不動産業2,085百万円(前年同月比150.6%)、卸売業7,374百万円(同115.6%)等で前年同月を上回り、製造業7,460百万円(同99.7%)、サービス業5,545百万円(同89.0%)、建設業10,608百万円(同84.4%)、小売業4,165百万円(同70.0%)、運送・倉庫業1,996百万円(同64.5%)、飲食店1,057百万円(同60.9%)で前年同月を下回った。

金融機関群別

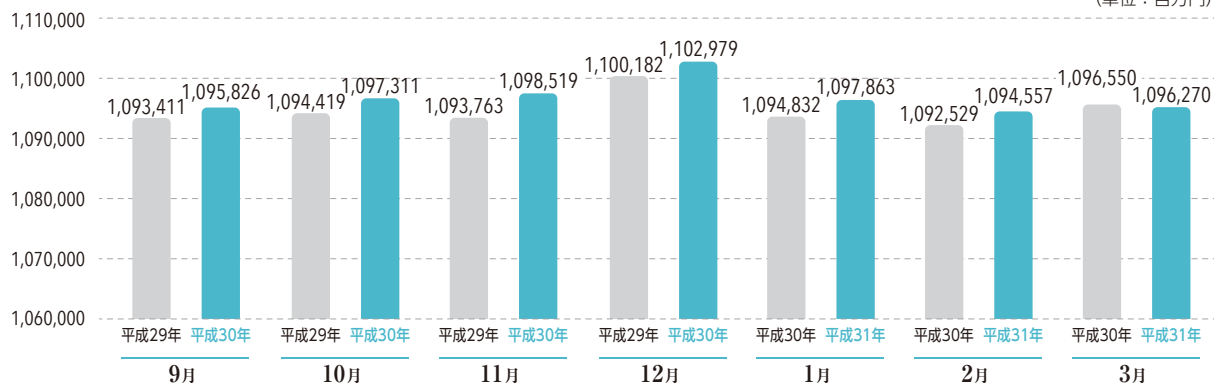
3月の金融機関群別保証承諾の状況は、第二地方銀行7,325百万円(前年同月比125.2%)、信用組合4,255百万円(同111.6%)等で前年同月を上回り、都市銀行3,524百万円(同89.5%)、信用金庫23,005百万円(同84.4%)、地方銀行2,623百万円(同61.6%)等で前年同月を下回った。

保証債務残高

3月末の保証債務残高は、91,484件(前年同月比98.7%)、1,096,270百万円(同100.0%)となり、前年同月と比べ、件数、金額ともに下回った。

保証債務残高 (前年比較)

(単位：百万円)





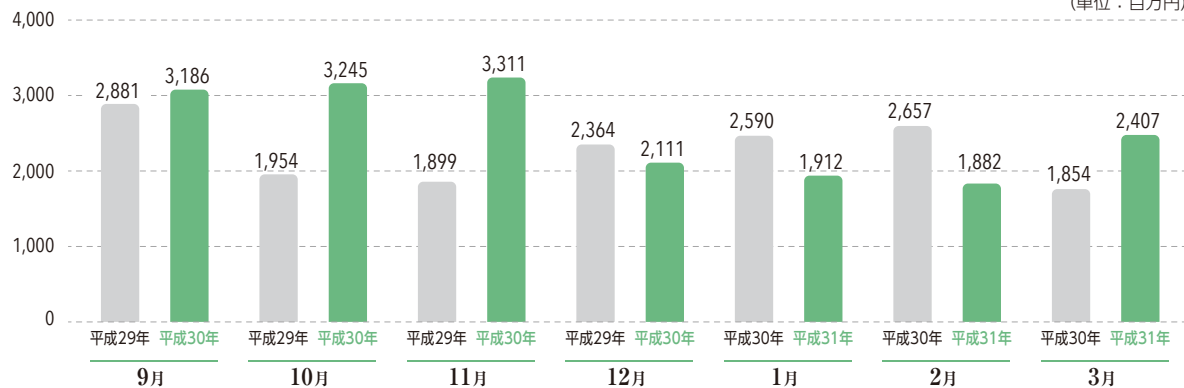
事故報告

3月の事故報告受付は、202件（前年同月比94.8%）、2,407百万円（同129.8%）となり、前年同月と比べ、件数は11件の減少、金額は552百万円の増加となった。

事故報告残高については、3月末で812件（同94.7%）、8,226百万円（同95.9%）となり、前年同月と比べ、件数、金額ともに下回った。

事故報告受付（前年比較）

（単位：百万円）

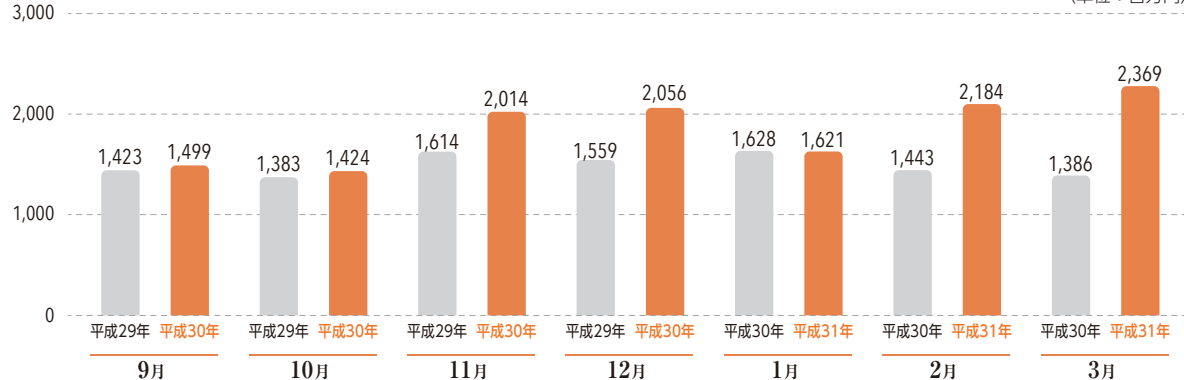


代位弁済(元利)

3月の代位弁済は、180件（前年同月比163.6%）、2,369百万円（同170.9%）となり、前年同月と比べ、件数は70件、金額は983百万円の増加となった。

代位弁済（前年比較）

（単位：百万円）



平成30年度の保証状況

- 保証承諾は、金融機関をはじめとする関係機関と連携し、企業のライフステージに応じた資金需要の把握と積極的な保証推進に取り組んだことに加え、昨年度創設した保証商品「ぜんしん」や「たんけい」「リードα」の利用が好調であったことが下支えし、26,031件、427,283百万円となり、昨年度とほぼ同水準となりました。
- 保証債務残高は、1,096,270百万円となり、全国的に減少が続いている中、当協会では保証承諾がほぼ横ばいで推移したことなどから、昨年度とほぼ同水準を維持することができました。
- 代位弁済は、金融機関との連携により、条件変更先への弾力的な対応を行うとともに、平成29年度から取り組んでいる「経営支援強化プロジェクト」などにより、経営支援に努めましたが、1,634件、19,420百万円となり、件数、金額ともに昨年度より増加しました。

信用保証をご利用できる方

以下①～④のいずれにも該当している事業者の方が信用保証をご利用できます。

- ①資本金または従業員数のいずれかが、右表の企業基準に該当していること。
特定非営利活動法人(NPO法人)の場合は、従業員数(製造業等:300人以下、卸売業・サービス業:100人以下、小売業・飲食業:50人以下)が該当していること。
- ②個人の場合は、兵庫県内に住居、事務所または営業所を有し、事業を営んでいること。
法人の場合は、兵庫県内に本店または事業所を有し、事業を営んでいること。
- ③許認可等を必要とする事業の場合は、当該事業に係る許認可等を申込人名義で受けていること。
- ④事業に必要とする運転資金または設備資金であること。

業種・営業形態などにより、ご利用いただけない場合もございます。
詳しくは、当協会窓口までお問い合わせください。

業 種	資本金	従業員数
製造業等	3億円以下	300人以下
ゴム製品製造業 ※	3億円以下	900人以下
卸売業	1億円以下	100人以下
小売業・飲食業	5,000万円以下	50人以下
サービス業	5,000万円以下	100人以下
ソフトウェア業 情報処理サービス業	3億円以下	300人以下
旅館業	5,000万円以下	200人以下
医療法人等	——	300人以下

※自動車または航空機用タイヤ及びチューブ製造業並びに工業用ベルト製造業を除きます。

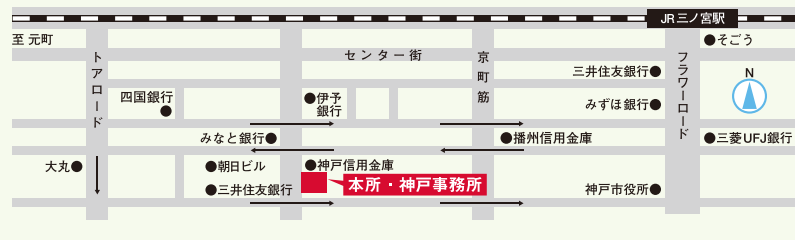
国家戦略特区において商工業とともに農業を営む方も信用保証をご利用いただけます。

兵庫県信用保証協会のネットワーク

本 所・神戸事務所

〒651-0195 神戸市中央区浪花町62-1 TEL 078-393-3900(代表)

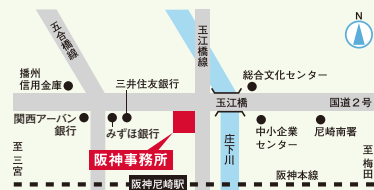
[担当地域]神戸市、明石市、三木市



阪神事務所

〒660-0881 尼崎市昭和通3-96 尼崎商工会議所会館3F
TEL 06-6411-4133(代表)

[担当地域]尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、川辺郡



但馬支所

〒668-0026 豊岡市元町 1-6 3F
TEL 0796-22-5171

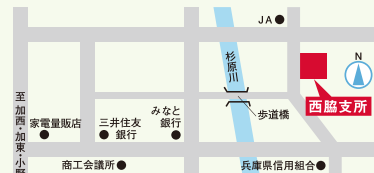
[担当地域]豊岡市、養父市、朝来市、美方郡



西脇支所

〒677-0015 西脇市西脇885-27
TEL 0795-22-6775

[担当地域]西脇市、小野市、加西市、丹波篠山市、丹波市、加東市、多可郡



姫路事務所

〒670-0965 姫路市東延末3-27-2
TEL 079-289-3611

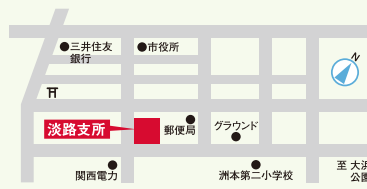
[担当地域]姫路市、相生市、赤穂市、宍粟市、たつの市、神崎郡、揖保郡、赤穂郡、佐用郡



淡路支所

〒656-0025 洲本市本町3-1-8
TEL 0799-22-4493

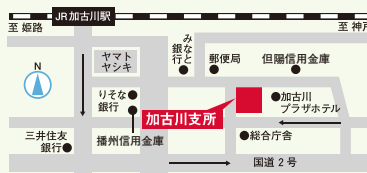
[担当地域]洲本市、南あわじ市、淡路市



加古川支所

〒675-0064 加古川市加古川町溝之口788
TEL 079-424-1105

[担当地域]加古川市、高砂市、加古郡



お客様総合相談室(中小企業融資よろず相談窓口)

本 所	小 林 室 長	TEL 078-393-3905
	堀 口 次 長	

本所・事務所・支所のお客様総合相談窓口

本 所 経営支援室	嶋 田 副 室 長	TEL 078-393-3920
神戸事務所	中 川 副 所 長 (保証相談一課、二課、三課)	TEL 078-393-3909
	米 谷 副 所 長 (調整相談一課、二課)	TEL 078-393-3915
阪神事務所	大 禮 副 所 長	TEL 06-6411-4133
姫路事務所	杉之原副所長	TEL 079-289-3611
但馬支所	宮 寄 次 長	TEL 0796-22-5171
淡路支所	赤 松 次 長	TEL 0799-22-4493
西脇支所	奥 田 次 長	TEL 0795-22-6775
加古川支所	戸 田 副 所 長	TEL 079-424-1105

代位弁済後のご返済等に関する お客様総合相談窓口

管 理 部	斎 藤 副 部 長 ※本所	TEL 078-393-3914
	宮 本 副 部 長 (管理相談一課、二課) ※本所	
	藤 岡 副 部 長 (管理相談三課) ※姫路事務所駐在	TEL 079-289-3615

(上記担当者が不在の場合は、代理の者が対応させていただきます)

女性企業家のみなさまへ

各事務所、支所に「女性企業家支援チーム」を設置しています。お気軽にご相談ください。

保証時報の送付について

ご希望の方に保証時報を毎月送付いたします(送料は当協会が負担)。ご希望の方は総務企画部企画調整課(TEL 078-393-3922)までお申し出ください。